- 1 日 時 平成 年9月3日
- 2 単元名 『東海地震 ~地震を知ろう』(3時間扱い/本時は第1時)
- 3 本時の目標 これまで周期的に起きている東海地震について知ることを通して、東海地震は避けては 通れないものであることを知り、地震発生直後にどのような行動をしたらよいかを考える ことができる。

4 本時の展開

学習の流れと予想される子どものあらわれ

写真を見て駿河湾地震を思い出す

駿河湾地震の時、どういう行動をとりましたか?

A:布団の中に隠れた。 B:物陰に隠れた。

C:気づかず寝ていた。 D:特に何もしない(呆然とした)

予想されている東海地震について知ろう。

- (1) 今回の地震の何倍ぐらいなのか。180倍M6.5 → M8 マグニニュードが1上がると32倍
- (2) 地震が起きるしくみを実験してみる。 スポンジ+木の板+消しゴム(家)を用いたモデル実験
- (3) 大陸プレートの説明。 世界に13プレート。うち駿河湾沖に4プレートが集中。
- (4) 過去にも周期的に起きている東海地震。 地震の周期表 → 宝永、安政(図)、東南海(写真)など

地震の時、どんな行動をとったらよかったのでしょう?

A:布団の中に隠れた。 B:物陰に隠れた。

C:気づかず寝ていた。 D:特に何もしない(呆然とした)

最初の10秒の大切さを知ろう。

- ・最初の10秒で火を消す、頭の上を確認する。
 - →大きな被害を押さえることができる。
- 大きな揺れが始まったらもう何もできない。
- ・自分の身を守るだけで精一杯。

東海地震がいつ来てもおかしくないのだな。

留意点

- ・被害の写真など
- 挙手で尋ねる。



モデ ル実験



